

他職種と連携した 体験型実習の提供

板橋中央総合病院
薬剤部 副部長 新堀 千香

板橋中央総合病院の紹介

- 病床数：569床 病棟数：17病棟（ICU・CCU・SCU含む）
- 診療科：34科
- 薬剤師：55名（アシスタント3.5名）
- 院外処方発行率：93%

【特徴】

全病棟に担当薬剤師が配置。
若い薬剤師が多い。



評価内容 + アピールしたい内容

- **学生の興味や考える力を増す病棟業務**
- 学生が質問しやすい環境
- 定期的なルーブリック評価面談

評価してくれて嬉しい！

- グループ病院ならではの集合研修
- リエゾン精神科研修
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て欲しい！

初日・学生アンケート内容

1. 薬局実習での8疾患の関与状況について、もっともあてはまると
思う番号を記入してください。

- ① 指導・処方解析ともにほとんど実施していない
 - ② 多少、処方に関わったが、深くまで理解していない
 - ③ ある程度の理解はできた
 - ④ 十分に理解できた
- がん：____、感染：____、・・・

2. 興味がある疾患・診療科がありましたら、チェックしてください
(複数選択可)。

- 腎疾患
- 脳血管障害

実習初日のオリエンテーションで、薬局実習での8疾患への関り・理解度・学生の興味に関するアンケートを実施し、学生の思いを確認

担当する病棟は学生個々に合わせて決定

- アンケート

学生の主観：薬局で8疾患を理解したかどうか

学生の興味がある疾患

- 薬局実習の記録

客観評価：8疾患の関与人数・指導人数

実習初日に、これらの情報を収集。

できるだけ学生の希望に合うように病棟を決定。

患者の入院から退院までを見る

- できるだけ、同じ病棟を連続して担当する。
- 板橋中央総合病院の平均在院日数は11日。

連続して、同じ病棟を担当することで、入院から退院まで患者を受け持ち、「自分の患者」という意識を持たせる。

学生が自分で選択
自分の患者を持つ
各病棟に担当薬剤師がいる



学生の興味や
考える力を増す病棟業務

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- **学生が質問しやすい環境**
- 定期的なルーブリック評価面談

評価して
くれて
嬉しい！

- グループ病院ならではの集合研修
- リエゾン精神科研修
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て
欲しい！

学生が質問しやすい環境

- 実習開始は、1～2年生が教育。年齢の近い薬剤師と接することで、学生の心を開く。
 - 指導薬剤師の他に、実習チームを作り、チームの薬剤師が学生と面談
 - 每期6名の学生を受け入れ。中央調剤では3名×2チーム、病棟では2名×3チームに分かれて行動。
- ➡実習生同士でも経験する内容が異なるため、他診療科の学びを共有し合うなど、よりよい効果が生まれている

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- 学生が質問しやすい環境
- **定期的なルーブリック評価面談**

評価してくれて嬉しい！

- グループ病院ならではの集合研修
- リエゾン精神科研修
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て欲しい！

定期的なルーブリック評価面談

- 実習期間中の学生との面談
 - ①指導薬剤師がルーブリックの意味を説明
 - ②ルーブリック評価3回（チーム薬剤師が評価）
 - ③チーム薬剤師が2以下と評価する場合は、指導薬剤師が介入
- **注目！** 面談によるスケジュール変更も対応実績あり
 - 他の実習生の話をきいて小児科を見たくなった
 - ➔病棟担当者と相談し、半日の小児科実習を追加
 - 医師との回診を行ったが、医師に聞きそびれた質問があった
 - ➔医師と面談する機会をセッティング

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- 学生が質問しやすい環境
- 定期的なルーブリック評価面談

評価して
くれて
嬉しい！

- **グループ病院ならではの集合研修**
- リエゾン精神科研修
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て
欲しい！

グループ病院ならではの集合研修

	実習2日目	実習終盤
講義	感染対策 病棟薬剤業務 医薬品安全管理	災害医療 病棟薬剤業務
SGD	KYT（危険予知トレーニング）	病院薬剤師の役割

- IMSグループ（北海道から関東）で実習を行っている薬学生、約40名がオンラインで研修。
- 1～2名しか実習生がいない施設でも、**専門認定をもつ薬剤師による講義を受けられる**
ディスカッションができる
他病院の経験を聞くことができる

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- 学生が質問しやすい環境
- 定期的なルーブリック評価面談

評価してくれて嬉しい！

- グループ病院ならではの集合研修
- **リエゾン精神科研修**
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て欲しい！

リエゾン精神科研修

- リエゾン精神科とは・・・

もともと、精神科にかかっている患者が骨折で入院した重い病気で入院が続くうちに、気持ちが落ち込んできた手術をしたが、術後に自分がどこにいるのかわからなくなった

- リエゾン：連携、連絡という意味

- 急性期の病院は身体だけ治せばよいわけではない。
そこに関わる精神的な問題をサポートする診療科。

- 精神科と違って、精神疾患の治療目的で入院患者はとらない。

リエゾン精神科研修

- リエゾン精神科の**医師に4日間同行**
- 同行により関わる患者例
認知症やせん妄がある患者、虐待の疑いがある患者、
抑うつや自殺念慮など問題を抱えている患者、
生体腎移植のドナー・・・
- 精神科医が患者と接する時のテクニックを学べる
- 医師がどのように考えて処方するか感じられる
- 医師から求められる薬剤師の役割を認識できる

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- 学生が質問しやすい環境
- 定期的なルーブリック評価面談

評価して
くれて
嬉しい！

- グループ病院ならではのディスカッション
- リエゾン精神科研修
- **スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授**
- 社会人になる前の心構えを指導

ここも見て
欲しい！

スライド作成の考え方・見せ方のコツ

**今から見せる4枚のスライド、
どれが好きですか？**

入院の経緯と薬学生としての介入

- 20XX年 健康診断受診し、血糖値が高いことが指摘されるが放置
- 20ZZ年Z月 病院受診。糖尿病と診断される。
- Day1 血糖コントロールのため、教育入院
インスリングルルギン、シタグリプチン（50mg/日）の投与開始
- Day2 メトホルミン投与開始（1日3回 1回1錠 毎食後）
初回服薬指導実施。
インスリングルルギンの手技について確認。
メトホルミンについて薬効を説明。
- Day4 血糖が落ち着いてきたためインスリンの投与中止
- Day8 2回目の服薬指導を実施。薬識について確認。シックデイについて説明実施。
- Day9 シタグリプチン100mg/日に増量
- Day13 退院日。退院時服薬指導の介入。自宅での服用方法について説明実施。

入院の経緯と薬学生としての介入

インスリンラルギン

血糖コントロール良好となりDay4で終了

シタグリプチン錠50mg (Day1 : 50mg/日、Day9~100mg/日に増量)

メトホルミン錠250mg 1回1錠 1日3回 毎食後

血糖コントロール不良のためDay2から追加



Day2



Day 8



Day13
退院日

50代 男性 健康診断で高血糖を指摘されるも20XX年から放置。
20ZZ年に妻の勧めで受診し2型糖尿病と診断され、教育入院となる。

●実習生としてDay2、8、13に介入

Day2 : インスリン手技確認、メトグルコについて説明

Day8 : 薬識、シックデイに対する理解度確認

Day13 : 自宅での服用方法について指導

入院の経緯と薬学生としての介入

患者背景

50代 男性

20XX年

20ZZ年Z月

20ZZ年Z月Z日

健康診断受診→高血糖を放置

妻の勧めで病院を受診。2型糖尿病と診断される。

血糖コントロールの目的で教育入院

処方薬

インスリンラルギン：Day1～開始。Day4中止（血糖コントロール良好の為）

シタグリプチン：Day1～50mg/日開始。Day9～100mg/日に増量

メトホルミン：血糖コントロール不良のため、Day2～750mg/日開始。

薬学生としての介入

Day2：インスリン手技確認、メトホルミンについて説明

S) 注射って難しいね。仕方ないんだけどね。

インスリン自己注射の手技が覚束ない

⇒看護師に見守り依頼実施。

Day8：薬識、シックデイに対する理解度確認

S) 糖尿病って怖い病気だったんだね。薬もちゃんと飲むよ。

Day13：自宅での服用方法について指導

S) 教わったことは覚えている。もう入院しないように頑張る。

症例からの学び

●注射手技の確認を多職種で共有し**チーム医療の重要性**を知った

●入院から退院までの一連の流れを見学することで、**患者の心境変化**を感じることができた。

入院の経緯と薬学生としての介入

患者背景

50代 男性

20XX年

20ZZ年Z月

20ZZ年Z月ZZ日

健康診断受診→高血糖を放置

妻の勧めで病院を受診。2型糖尿病と診断される。

血糖コントロールの目的で教育入院

処方薬

インスリングルルギン：Day1～開始。Day4中止（**血糖コントロール良好**の為）

シタグリプチン：Day1～50mg/日開始。Day9～100mg/日に増量

メトホルミン：**血糖コントロール不良**のため、Day2～750mg/日開始。

薬学生としての介入

Day2：インスリン手技確認、メトホルミンについて説明

S) **注射って難しい**ね。仕方ないんだけどね。

インスリン自己注射の手技が覚束ない

⇒ **看護師に見守り依頼**実施。

Day8：薬識、シックデイに対しての**理解度確認**

S) **糖尿病って怖い**病気だったんだね。薬もちゃんと飲むよ。

Day13：自宅での**服用方法**について**指導**

S) **教わったことは覚えている**。もう入院しないように頑張る。

症例からの学び

●注射手技の確認を多職種で共有し

チーム医療の重要性を知った

●入院から退院までの一連の流れを見学することで、**患者の心境変化**を感じることができた。

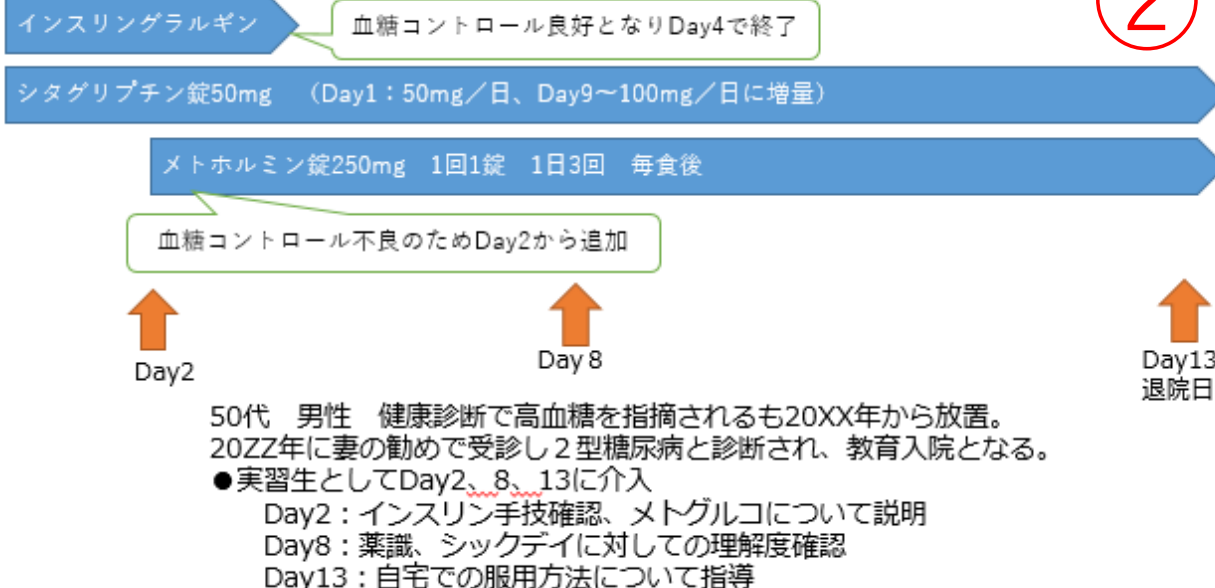
入院の経緯と薬学生としての介入

①

- 20XX年 健康診断受診し、血糖値が高いことが指摘されるが放置
- 20ZZ年Z月 病院受診。糖尿病と診断される。
- Day1 血糖コントロールのため、教育入院
インスリンララルギン、シタグリブチン (50mg/日) の投与開始
- Day2 メトホルミン投与開始 (1日3回 1回1錠 毎食後)
初回服薬指導実施。
インスリンララルギンの手技について確認。
メトホルミンについて薬効を説明。
- Day4 血糖が落ち着いてきたためインスリンの投与中止
- Day8 2回目の服薬指導を実施。薬識について確認。シックデイについて説明実施。
- Day9 シタグリブチン100mg/日に増量
- Day13 退院日。退院時服薬指導の介入。自宅での服用方法について説明実施。

入院の経緯と薬学生としての介入

②



入院の経緯と薬学生としての介入

③

患者背景	20XX年 健康診断受診→高血糖を放置
50代 男性	20ZZ年Z月 妻の勧めで病院を受診。2型糖尿病と診断される。 20ZZ年Z月Z日 血糖コントロールの目的で教育入院

処方薬

インスリンララルギン: Day1~開始。Day4中止 (血糖コントロール良好の為)
シタグリブチン: Day1~50mg/日開始。Day9~100mg/日に増量
メトホルミン: 血糖コントロール不良のため、Day2~750mg/日開始。

薬学生としての介入

- Day2: インスリン手技確認、メトホルミンについて説明
- S) 注射って難しいね。仕方ないんだけどね。
インスリン自己注射の手技が見えない
→看護師に見守り依頼実施。
- Day8: 薬識、シックデイに対する理解度確認
- S) 糖尿病って怖い病気だったんだね。薬もちゃんと飲むよ。
- Day13: 自宅での服用方法について指導
- S) 教わったことは覚えている。もう入院しないように頑張る。

症例からの学び

- 注射手技の確認を多職種で共有しチーム医療の重要性を知った
- 入院から退院までの一連の流れを見学することで、患者の心境変化を感じることができた。

入院の経緯と薬学生としての介入

④

患者背景	20XX年 健康診断受診→高血糖を放置
50代 男性	20ZZ年Z月 妻の勧めで病院を受診。2型糖尿病と診断される。 20ZZ年Z月Z日 血糖コントロールの目的で教育入院

処方薬

インスリンララルギン: Day1~開始。Day4中止 (血糖コントロール良好の為)
シタグリブチン: Day1~50mg/日開始。Day9~100mg/日に増量
メトホルミン: 血糖コントロール不良のため、Day2~750mg/日開始。

薬学生としての介入

- Day2: インスリン手技確認、メトホルミンについて説明
- S) 注射って難しいね。仕方ないんだけどね。
インスリン自己注射の手技が見えない
→看護師に見守り依頼実施。
- Day8: 薬識、シックデイに対する理解度確認
- S) 糖尿病って怖い病気だったんだね。薬もちゃんと飲むよ。
- Day13: 自宅での服用方法について指導
- S) 教わったことは覚えている。もう入院しないように頑張る。

症例からの学び

- 注射手技の確認を多職種で共有しチーム医療の重要性を知った
- 入院から退院までの一連の流れを見学することで、患者の心境変化を感じることができた。

4枚のスライドの情報量は、ほぼ同一

多くの学生が、②もしくは③を好きと回答

④は一番作るのが大変だが、見にくいという意見が多い

学生がスライドを作る前に、スライドの作り方によって、人の目をどのように引くことができるか説明。

自分ではなく、相手から見て分かりやすいスライドを意識するよう指導実施。

誰に向けて、何を伝えたい発表ですか？

- ◆ 後輩に向けて、実習で学んだ事を伝えたい
 - ⇒ なぜ、それを選んだの？
 - 去年の自分は、その言葉、知ってた？ 相手に伝わる？

Aさん「**TDM**について発表したい」

→ TDMのシミュレーションを経験したが、予測と実測がずれた。**臨床は予想通りにいかないことが驚き**だった。

Bさん「**緩和症例**を発表したい」

→ 食欲不振になった時に薬剤師が亜鉛不足による食欲不振を疑い検査提案をしていた。処方だけでなく**薬剤師が検査の提案**もすることに**驚いた**。

評価内容 + アピールしたい内容

- 学生の興味や考える力を増す病棟業務
- 学生が質問しやすい環境
- 定期的なルーブリック評価面談

評価して
くれて
嬉しい！

- グループ病院ならではのディスカッション
- リエゾン精神科研修
- スライド作成の考え方・見せ方のコツを伝授
- **社会人になる前の心構えを指導**

ここも見て
欲しい！

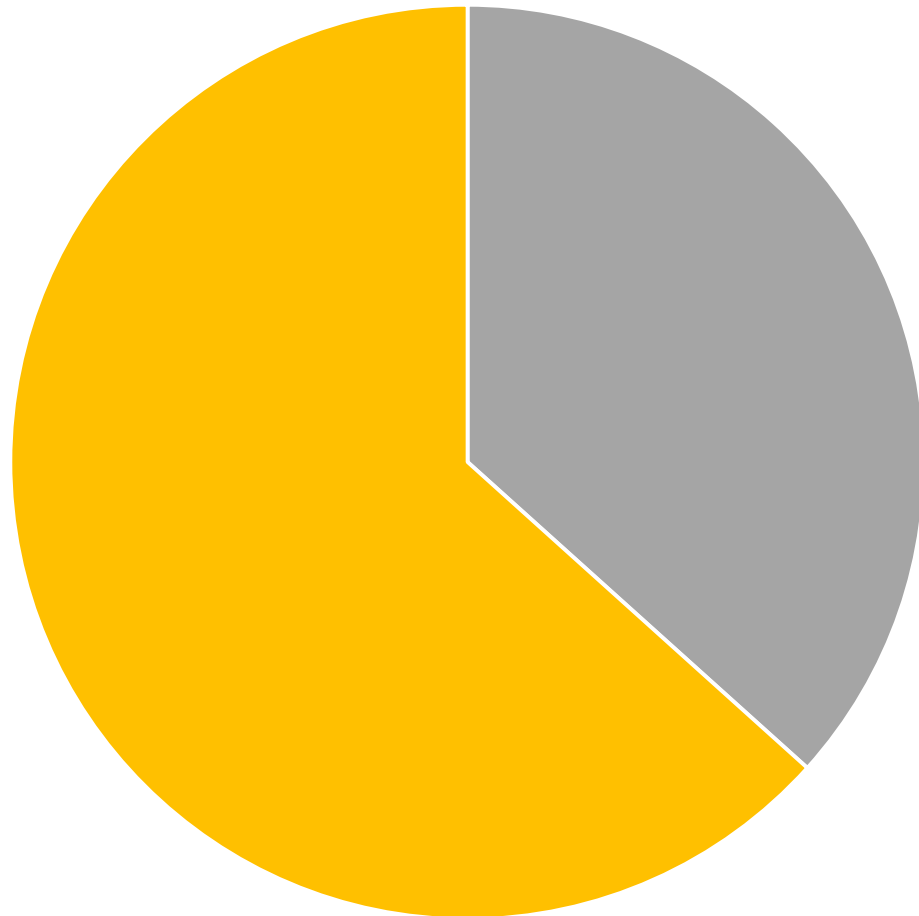
社会人としての心構え

薬剤部長から、次の内容をお話しして、実習を締めくくり

- 利他の精神、人間力を高める努力をする
- 「薬剤師さん」から「〇〇さん」になる
- 相手の期待値「満足」を超えて、
「感謝」「感動」を与えられる仕事を目指す

部長の精神にならい、
「学生さん」ではなく、「〇〇さん」と呼び、
「感動」を与えられる実習を目指しています。

実習はあなたの未来に役立つものでしたか



- 役に立たない
- どちらともいえない
- 役に立つ
- とても役立つ

実習に対する課題

- 8疾患を実際の症例で体験させるには11週間だと短い
- コロナ禍以降、症例発表会がなくなった
- 実習生を丁寧に教えている一方、業務負荷にもなっている

実習は私たちが通ってきた道
後進育成は私たちの責務で、薬剤師の未来創り